

臨床感覚器学

科目到達目標: 1) アレルギー疾患の原因、検査法について説明できる。

2) 各領域の悪性腫瘍について疾患を列挙し、その診断と治療の要点を概説できる。

3) 各領域の感染性疾患について疾患を列挙し、その診断と治療の要点を概説できる。

4) 視力障害を来す疾患を列挙し、その診断と治療の要点を概説できる。

5) めまいをきたす疾患を列挙し、その診断と治療の要点を概説できる。

6) 再建術を概説できる。

7) 再建術を概説できる。

科目責任者(所属): 山元 修(皮膚病態学)

山田 七子(卒後臨床研修センター)

連絡先: 0859-38-6597

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/15(水)	2	112	緑内障	魚谷 竜	視覚病態学	緑内障の原因・症状・治療について理解する。	開放隅角・閉塞隅角緑内障、眼圧、緑内障に対する点眼、内服、外科的治療
2	4/15(水)	5	112	皮膚感染症	山元 修	皮膚病態学	皮膚細菌感染症(伝染性膿痂疹、せつ、よう、毛包炎、丹毒、ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群)を列挙し、概説できる。皮膚表在性と深在性真菌症の症候と病型を説明できる。	剥脱素、デスマグレイン、黄色ブドウ球菌、溶連菌
3	4/21(火)	1	112	母斑・母斑症	吉田 雄一	皮膚病態学	母斑症の症状と全身症状、予後について説明できる。	神経線維腫症1型
4	4/22(水)	2	112	鼻・副鼻腔疾患1	竹内 裕美	耳鼻咽喉・ 頭頸部外科学	鼻・副鼻腔疾患(アレルギー性鼻炎は除く)の病態と診断及び治療を説明できる。	慢性副鼻腔炎、真菌性上顎洞炎、上顎癌、若年性鼻咽腔血管線維腫
5	4/28(火)	1	112	眼科概論・検査	井上 幸次	視覚病態学	眼球の構造を眼科の主要疾患と関連させて理解する(基礎感覚学の復習)。眼科の種々の検査を理解する。	視力検査、視野検査、細隙灯顕微鏡検査、眼圧検査、眼底検査
6	5/11(月)	1	112	網膜1	佐々木慎一	視覚病態学	網膜疾患およびその治療について理解する。	網膜剥離、黄斑疾患、網膜硝子体手術
7	5/12(火)	1	112	乾癬・角化症	杉田 和成	皮膚科	尋常性乾癬、扁平苔癬とジベルばら色粒糠疹の病態、症候と治療を説明できる。	尋常性乾癬、扁平苔癬、ジベルばら色粒糠疹、類乾癬、魚鱗癬
8	5/18(月)	1	112	紅斑症・紅皮症	谷 直実	皮膚病態学	多形紅斑、環状紅斑と紅皮症の原因と病態を説明できる。	多形紅斑、結節性紅斑、粘膜皮膚眼症候群、スティーブンス・ジョンソン症候群、ペーチェット病
9	5/19(火)	1	112	頭頸部再建外科	八木 俊路朗	形成外科	頭頸部領域の再建形成外科について理解する。	植皮、有茎皮弁、遊離皮弁、筋皮弁、遊離空腸、微小血管吻合
10	5/19(火)	2	112	角膜	井上 幸次	視覚病態学	角膜疾患の病態を理解する。角膜移植とアイバンクについて理解する。	角膜ヘルペス、細菌性角膜炎、真菌性角膜炎、角膜ジストロフィ、円錐角膜、水疱性角膜症、角膜移植 アイバンク
11	5/25(月)	1	112	水晶体	稲田 耕大	眼科	白内障および水晶体疾患とその治療について理解する。	白内障(老人性、先天性、続発性、外傷性など)水晶体脱臼、眼内レンズ
12	5/26(火)	1	112	悪性黒色腫、その他間葉系腫瘍	後藤 寛之	皮膚病態学	悪性黒色腫について、臨床的病型、病期分類、予後について理解する。間葉系腫瘍の発生母地、構成細胞、予後について理解する。	悪性黒色腫、間葉系腫瘍

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
13	5/26(火)	2	112	耳鼻咽喉科の救急疾患 (外傷、気管切開など)	福島 慶	耳鼻咽喉・ 頭頸部外科学 (非常勤講師)	耳鼻咽喉・頭頸部領域の救急疾患の病態と診断及び治療を説明できる。	気管切開、気道異物、咽頭異物、食道異物
14	6/2(火)	1	431	口腔顎顔面領域の 先天異常	土井 理恵子	歯科口腔外科	口腔顎顔面領域の先天異常を理解する。	口唇裂、口蓋裂、顔裂
15	6/2(火)	2	431	紫斑・血流障害・血管炎・ 光線性皮膚症	堤 玲子	皮膚科	皮膚血流障害と血管炎の原因、症候と病態を説明できる。	壊死性血管炎、アナフィラクトイド紫斑、血小板減少性紫斑病、DIC、特発性色素性紫斑、血栓性静脈炎、色素性乾皮症、種痘様水疱症、光線過敏症
16	6/8(月)	1	431	内耳疾患	矢間 敬章	耳鼻咽喉・ 頭頸部外科学	内耳疾患、感音難聴の病態、診断および治療を説明できる。	内耳奇形、感音難聴、薬剤性難聴、 創音声難聴、補聴器、人工内耳
17	6/9(火)	1	431	湿疹皮膚炎(アトピー性皮 膚炎ふくむ)	山田 七子	卒後臨床 研修センター	湿疹反応を説明できる。接触皮膚炎、脂漏性皮膚炎、貨幣 状皮膚炎、皮脂欠乏性湿疹を概説できる。	湿疹三角、パッチテスト、一次刺激性、アレルギー性、アトピー体 質、貨幣状皮膚炎、湿潤性紅斑、脂漏性皮膚炎
18	6/9(火)	2	431	めまい疾患	中村 陽祐	頭頸部 診療科群	めまい疾患を病態から鑑別し、診断と治療を説明できる。	メニエル病、前庭神経炎、聴神経腫瘍、外リンパ漏、椎骨脳 底動脈循環不全、ワレンベルグ症候群
19	6/10(水)	5	431	網膜2、3	馬場 高志	眼科	糖尿病網膜症について理解する。 全身疾患と関連する網膜疾患について理解する。	糖尿病網膜症、高血圧眼底、網膜血管閉塞性疾患、 未熟児網膜症、レーザー治療
20	6/15(月)	1	431	口腔顎顔面外傷	藤井 信行	歯科口腔外科	口腔顎顔面外傷について理解する。	上顎骨・下顎骨・頬骨骨折、軟部損傷
21	6/16(火)	1	431	皮膚付属器疾患	堤 玲子	皮膚病態学	皮膚付属器疾患について説明できる。	円形脱毛症・男性型脱毛症・痤瘡・ 酒さ様皮膚炎
22	6/16(火)	2	431	鼻・副鼻腔疾患2	竹内 裕美	耳鼻咽喉・ 頭頸部外科学	鼻・副鼻腔疾患(アレルギー性鼻炎は除く)の病態と診断及び 治療を説明できる。	鼻出血、嗅覚障害、ヴェグナー肉芽腫症、 副鼻腔気管支症候群
23	6/22(月)	1	431	屈折異常・斜視	唐下 千寿	眼科	屈折異常と斜視・弱視疾患について理解する。	近視・遠視・乱視・斜視・弱視
24	6/23(火)	1	431	薬疹・薬物障害	杉田 和成	皮膚科	薬疹や薬物障害の発生期所、症候と治療を説明できる。	スティーブンス・ジョンソン症候群、 ライエル症候群、固定薬疹
25	6/23(火)	2	431	眼球運動・視路	春木 智子	眼科	眼球運動と視路の機能と障害について理解する。	眼球運動、外眼筋、神経支配、視路、 視中枢、視覚情報処理
26	6/26(金)	2	431	結膜・涙器・眼瞼	宮崎 大	眼科	眼表面、眼瞼、涙器、涙道の役割と疾患との関連性を理解 する。	結膜炎、眼瞼腫瘍、眼瞼炎、眼表面アレルギー、涙腺疾 患、涙道疾患
27	6/26(金)	4	431	聴力検査、平衡機能検 査	門脇 敬一	耳鼻咽喉・ 頭頸部外科学 (非常勤講師)	聴力検査、平衡機能検査の目的、方法、結果の判定を説明 できる。	標準純音聴力検査、語音明瞭度検査、幼児聴力検査、 注視・頭位眼振検査、温度眼振検査、視標追跡検査、視 運動性眼振検査、電気眼振計
28	7/1(水)	2	431	中耳疾患	矢間 敬章	耳鼻咽喉・ 頭頸部外科学	急性中耳炎、滲出性中耳炎などの中耳疾患の病態と診断 および治療を説明できる。	急性中耳炎、慢性中耳炎、滲出性中耳炎、真珠腫性中 耳炎、伝音性難聴

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
29	7/2(木)	4	431	喉頭疾患	福原 隆宏	耳鼻咽喉・ 頭頸部外科学	喉頭疾患の病態と診断及び治療を説明できる。	嚙声、声帯ポリープ、浮腫状声帯、反回神経麻痺、喉頭異常感症、逆流性食道炎、急性喉頭蓋炎
30	7/3(金)	3	431	咽頭疾患	竹内 英二	耳鼻咽喉・ 頭頸部外科学 (非常勤講師)	咽頭疾患の病態と診断及び治療を説明できる。	急性扁桃炎、扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍、慢性扁桃炎、病巣感染症、味覚障害、睡眠時呼吸障害、嚥下障害
31	7/7(火)	2	431	ぶどう膜	井上 幸次	視覚病態学	ぶどう膜炎の病態、全身疾患の関連性について理解する。	虹彩、毛様体、脈絡膜、急性ぶどう膜炎、原田病、ベーチェット病、サルコイドーシス
32	7/8(水)	2	431	蕁麻疹・皮膚そう痒症	森田 栄伸	皮膚病態学 (非常勤講師)	蕁麻疹の病態、診断と治療を説明できる。皮膚そう痒症の原因と病態を説明できる。	蕁麻疹、膨疹、皮膚描記症、血管浮腫、皮膚そう痒症、痒疹、食物依存性運動誘発性アナフィラキシー
33	7/8(水)	5	431	水疱症・膿疱症	名嘉真 武国	皮膚病態学 (非常勤講師)	自己免疫性水疱症の原因、病態と分類を説明できる。膿疱症の種類と病態を説明できる。	棘融解、デスモグレイン、BP180、デスモソーム、ヘミデスモソーム、海綿状膿疱
34	7/9(木)	4	431	全身と皮膚	後藤 寛之	皮膚病態学	デルマドローム、代謝性疾患について概説できる。	デルマドローム(内臓悪性腫瘍と皮膚)、アミロイドーシス、黄色腫、ポルフィリン症
35	7/10(金)	3	431	頭頸部腫瘍	福原 隆宏	耳鼻咽喉・ 頭頸部外科学	頭頸部領域に生じる悪性腫瘍の症候、診断、治療を説明できる。	鼻・副鼻腔悪性腫瘍、咽頭悪性腫瘍、喉頭癌、頸部リンパ節腫脹
36	7/13(月)	1	431	嚥下障害	藤原 和典	頭頸部診療科群	嚥下障害の病態、診断、治療について理解し説明できる。	内視鏡下嚥下機能検査、嚥下造影検査、嚥下改善手術、誤嚥防止術
37	7/14(火)	5	431	上皮系腫瘍	清原 祥夫	皮膚病態学 (非常勤講師)	上皮系腫瘍の診断、治療、予後について理解する。	有棘細胞癌、基底細胞上皮腫、Bowen病、Paget病

教育グランドデザインとの関連:3

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

学位授与の方針との関連:2

評価:定期試験 90%、小試験 10%

実務経験との関連:なし

教科書:標準皮膚科学(第11版)(医学書院、岩月啓氏、2020年2月)、皮膚病アトラス(第5版)(文光堂、西山茂夫、2004)、眼科学 疾患とその基礎 改訂版(メディカル葵、大橋裕一ほか)、現代の眼科学(改訂第11版)(金原出版、所 敬・吉田 晃敏・谷原 秀信)、STEP 耳鼻咽喉科(高橋秀樹、海馬書房)、耳鼻咽喉科学(金芳堂、久保武・田村学・猪原秀典)イラスト耳鼻咽喉科(文光堂、森満保)、口腔内科学(飛鳥出版、尾崎登喜雄、2008)、口腔外科学(医歯薬出版、白砂兼光・古郷幹彦、2010)、標準形成外科学 第6版(医学書院、平林慎一・鈴木茂彦)